

教育学部 地球科学専修 科目登録に関する注意事項

全体的注意

- 科目の登録にあたっては、『学部要項』と『2025 年度授業ガイド 理学科編』をよく読んでおいて下さい。『学部要項』は入学時に配布されております。授業ガイドは教育学部科目登録サイトに PDF として置かれており、年度ごとに更新されます。
- 『授業ガイド』にも明記されているように、同じ専門選択科目を 2 回不合格となった場合には、それ以降その科目を履修することはできません。その結果、卒業できなくなる可能性もあります。
- 『授業ガイド』にも明記されているように、地球科学専修主管の専門選択科目は一旦科目登録が「決定」すると取り消しができません。
- 「卒業研究」を実施する専門分野（研究室）毎に、「専門分野に必要なコア科目 (core subjects)」、および「専門分野に関連のある科目 (related subjects)」が定められています。各専門分野の「卒業研究」を行うためのコア科目と推奨科目※1に従って、「卒業研究」実施のために必要な科目を 1 年次より計画的に履修して行って下さい。特に 3 年次の「地球科学演習」並びに「〇〇〇学基礎演習」（通常、4 年次「卒業研究」と同じ研究室にて実施）への配属の決まる 2 年次末までは、複数の研究室に進めるよう履修を進めることが望ましいです※2。具体的には、3 年次のコア科目を履修するために、2 年次の選択科目の履修または修得が条件となっているものがあります（科目の履修条件に関しての注意を参照）。

「専門分野に必要なコア科目」を 3 年次の終わりまでに履修していない場合には、当該専門分野（研究室）で卒業研究を行うことは原則としてできません。

※1 添付した表「各専門分野の卒業研究を行うためのコア科目と推奨科目」を参照してください。

※2 各研究室への配属人数には上限があります。上限に達した研究室については、希望どお

り進めない場合があります。

- 地球科学演習を履修するためには、1 年次配当の必修科目（「地質学入門―地球の物質」、
「地質学入門―地球の歴史」、「惑星地球学入門」、「惑星地球の変動と進化」）を全て修
得済みである必要があります。
- 4 年次についての注意点。4 年必修の「卒業研究」と当該分野の「○○○学演習」以外
の科目は、できる限り 3 年次の終わりまでに履修しておくことが望ましいです。
- 専門選択科目「天体物理学Ⅱ」（3～4 年次配当）の授業は西早稲田キャンパスで行わ
れます。登録に際して、移動時間などに注意して下さい。
- 履修相談などがある場合は、クラス担任や助教に相談して下さい。
科目登録に関する相談は、My WASEDA ログイン画面左下 『成績照会・科目登録専用メ
ニュー』 ― 『Web 科目登録の問い合わせフォーム』で受け付けています。

2023 年度入学者（3 年生）

- 3 年次必修科目の履修について

3 年次春学期の必修科目は「地球科学演習」（金曜 1 時限）です。

3 年次秋学期の必修科目は「堆積学基礎演習」・「進化古生物学基礎演習」・「火山学基礎演習」・「地球物質科学基礎演習」・「地球化学基礎演習」・「衛星地球観測学基礎演習」「鉱物学基礎演習」「構造地質学基礎演習」のうちの 1 科目です。

これらの「〇〇〇学基礎演習」は必修科目ですが、自動登録されません。このため、4 月の科目登録の時点ではこの 2 単位分を除いた 42 単位を上限として時間割を組んで下さい。また、「〇〇〇学基礎演習」は秋学期の金曜 1 時限目に開講されるので、この時間帯には他の科目を科目登録しないよう注意して下さい（特に語学等の通年科目に注意）。

- 「地球科学実習」について

2025 年度は北海道巡検です。

本学大学院へ進学を考えている人へ

- 1999 年度より「学部・大学院一貫教育化に伴う科目履修の新制度」が適用されています。創造理工学研究科の詳細については本紙 P. 5 を参照して下さい。

☆「大学院先取履修」については、教育学部ホームページをご覧ください。

<https://www.waseda.jp/fedu/edu/students/registration/other/>

科目の履修条件についての注意

「…」を履修するためには	「…」を	〇〇〇であること
「〇〇〇学基礎演習」	「地球科学演習」	修得していること。
「地球科学実習」(C 群)	「地質学入門—地球の物質」	
「地質調査実習」(C 群)	「地質学入門—地球の歴史」	
「地球科学演習」(3 年必修)	「惑星地球学入門」 「惑星地球の変動と進化」	
「地質調査実習」(C 群)	「地質図学演習」(B 群)	修得していること。
「岩石学実験」(B 群) ※定員 20 名	「岩石学」 「岩石記載法」(B 群)	
	★「岩石学実験」 履修希望が強い学生については、あらかじめメールにより志望理由書を提出し、その内容を基に判断した上で、抽選から除外し、優先登録をする措置を講じることがある。	
「岩石記載法」(B 群)	「岩石学」	履修済みであること。
「鉱物学実験」(B 群)	「鉱物学」	
「地史学 II」	「地史学 I」	
「構造地質学特論」	「構造地質学」	
「堆積学 II」	「堆積学 I」	
「古生物学 II」	「古生物学 I」	
「大気の運動と気象システム」	「気象の基礎物理」	

(注) “修得”とは、その科目を登録し、“C”以上の成績を得ていることを指します。

“履修済み”とは、その科目を登録し、“F”以上の成績を得ていることを指します。

- 上記左欄の中でコア科目を履修するためには、中欄の前提科目を履修または修得しておかないと 3 年でコア科目を履修できなくなり、希望研究室に進めない、または留年が決まる可能性がありますので、2 年進学時の科目登録では注意してください。

**教育学部 地球科学専修—大学院 創造理工学研究科
相互乗り入れ科目についての留意事項**

教育学部-大学院創造理工学研究科相互乗り入れ科目として、下記の3種類の制度があります。

★隔年開講科目

(1) 学部生の大学院先取り履修科目（大学院進学が明確で成績優秀な4年生の場合、教員の許可を得て大学院の科目を上限10単位以内で履修可能）

★「進化古生物学特論」（守屋）

★「組成データの解析法」（太田）

【2025年度休講】

☆「古海洋学特論」（守屋）

☆「大陸地殻の進化と碎屑物組成」（太田）

(2) 学部・大学院合併科目（院生が学部で履修しなかった場合に、履修・単位取得可能、大学院科目としても配当）

「地球テクトニクス」（山野）

「海洋科学」（道田・小松（幸））

「海洋底ダイナミクス」（黒田・山口）

「地球化学」（飯塚）

「同位体地球化学」（飯塚）

※合併科目を大学院の先取り科目として申請することはできません。

(3) 大学院生の学部科目履修制度対象科目（後取り履修科目：大学院科目としては配当されていないが、教員の許可を得て上限4単位まで履修・大学院の単位として取得可能）

★「地球物質科学」（田口）

★「岩石成因論」（田口）

科目の配当年次について（注意）【重要】

web 上での「シラバス検索」の画面では、コンピュータプログラムの制約のため、配当年次が適切に表示されません。

科目登録をする際は、必ず『授業ガイド』で配当年次を確認した上で、履修計画を立ててください。

例えば、web 上の「シラバス検索」では以下の 3 科目の配当年次は「2 年以上」という記載になっていますが、『授業ガイド』の授業時間割の「年次」の欄には、

- 「岩石記載法」 → 2 年
- 「機器分析実験」 → 2～3 年
- 「地球物理学」 → 2～4 年

と、それぞれ違う配当年次が記載されています。

いずれも「シラバス検索」での表示通り「2 年以上」であれば履修できる科目ではありますが、『授業ガイド』に掲載されている「年次」がカリキュラム上推奨される履修年次ですので、遵守しないと、その後、思わぬ不利益をこうむる可能性があります。

（例）*****
2 年次に履修すべき科目を 2 年次に履修しておかないと、3 年次で研究室配属に関わる科目が履修できなくなり、4 年間で卒業できなくなることがあります。

また、web 登録時に行う科目の選択に際しても、「履修可能な科目」として表示されるため、本来設定されている配当年次とは異なる科目が表示されることがあります。

以上の点に十分注意して、科目登録を行ってください。